

# γルンゼ左股奥壁富士鉄ルート

2017/5/20

FS 山行 高橋岳、千葉敦久

以前からガンマに興味のあった千葉さんと行ってきた。お互い本谷ルート含め初見である。初めて行く所はワクワクするものだ。金曜 22 時に太陽の里に着き、車中泊。千葉さんはあまり眠れなかったらしい。

快晴 旧道登山口(2:50)ユーフレ小屋(4:30)γ奥壁基部(7:20-8:00)5p 目終了(16:30)夫婦岩基部(18:00-19:00)旧道登山口(21:30)

満天の星の下、ラテルネ点けて出発。ユーフレ小屋を過ぎ、本谷へ入る。久々の沢の冷気が心地良い。本谷は十分雪渓で埋まっており問題ない。アプローチ靴に軽アイゼンを装着する。本谷のゴルジュを過ぎると朝陽に輝くガンマが見えた。「岳ちゃん、ビッグウォールだよ！」と千葉さんも興奮だ。雪渓の急登が歩きづらいので、βルンゼをつめてからγルンゼにのっこし左股に入った。奥壁基部に到着し壁を見上げるとアマツバメが黒いブーメランの如くシュッシュと飛び交っている。Z ハングとへの字ハングからも沢山飛び出して賑やかだ。この日は気温も上がり、登攀中は対岸の本谷支沢からデブリと土砂が轟音とともに落ちているのが日中見えた。

1p 目(5.10+):(高橋)アマツバメの住むZ状ハングから登り出す。所々脆い。慎重にホールドを選んでフリーで登る。残置が多いので前半ランナー取りすぎてしまった。25m。残置 RCC とリングボルトでビレイ。フォローは2人分の1泊装備を背負うのでかなり大変そうだ。千葉さん、Z ハングの辺りで1m くらいの岩を引きずり落とした。

2p 目(5級A0):(千葉)右上してカンテを越えるあたりが核心。千葉さん、フリーで突破に TRY するがフォール。朝一のフォローがキツすぎたみたい。素直に5級A0で抜ける。カンテを越えトラバース気味に右上し悪い草付き凹角を登る。よく濡れていた。第一樺の木テラスまで。40m。

3p 目(5級):(高橋)トポには「10mクラック登って右へトラバース」とある。テラスを左に歩くと、なるほどクラックの入った凹角状がありこれを登る。クラックは浮き石が多くボロい。15m程登り大ハングの下まで行き、右にトラバースするポイントを探るが、結構シリアスで残置ピン一つもない。これはおかしいな、と思いクライムダウン。取り付きまで降りてカンテの右をよく見ると残置がBush帯にむかって続いていた。こちらを登り直す。第二樺の木テラスでビレイ。5級40m。すぐ横の小滝でツバメが水浴びしている。

4p 目(5級+):(千葉)正面の草付き階段状(見た目よりかなり悪いマントル!)から左上バンドへ入る。岩が脆く悪い。40m。

5p 目(5級+):(高橋)左上してBush帯まで。最後ののっこしが濡れた草付きマントルで大変だった。20m。

ザイルを解き一部きついBush登り、支稜上に出る。ここから望む本峰は美しい。ツツドリの鳴き声に導かれ夫婦岩へ。ネギ休憩して旧道を下山する。

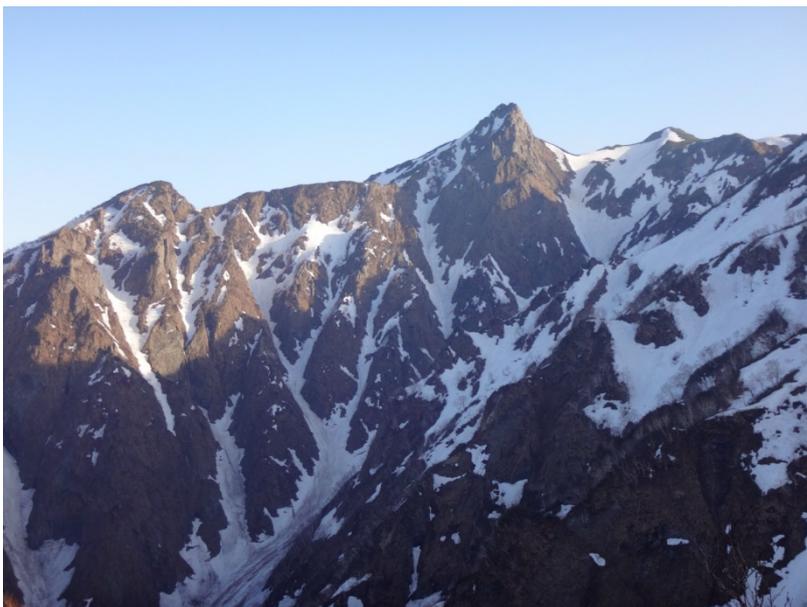
今回は重荷のフォローに時間がかかった。今後はレベルアップ必要だ。



←ガンマ奥壁基部  
1p目フォローの千葉さん。



ネギ畑を攻める千葉さん



夕陽を浴びる  
芦別本峰。